

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	1単位	必修
担当教員			
牟田・中野・小松・富場			

講義概要	長崎短期大学に隣接する「黒島」をフィールドとし、「地域を知るプロジェクト」を実施する。私たちが住む街を調査し、正しい情報を集め、地域が課題とする問題を明らかにする。このプロジェクトに取り組むことにより、情報収集能力、プレゼンテーション能力を高めることはもちろんのこと、様々な世代や職業の人と接することによりコミュニケーション力を高める。		
授業計画	6/21	3コマ目：1st Quarterの振り返り 1st Quarterで学修したこと、身につけたこと、課題などを「学修成果記録ノート」に記入する。	
	6/21	4コマ目：自己分析・自己理解 リテラシー・コンピテンシー等の力を見て、自分の強み、弱みを理解し、フィールドワーク等、チームで活動するときの自分の役割や行動特性を再認識する。	
	6/28	3コマ目：外部講師による特別講義5 効果的なプレゼンについて学ぶ。 「相浦フィールドワーク」プレゼンの様子を検証し、反省・改善項目を確認する。	
	6/28	4コマ目：外部講師による特別講義6 効果的なプレゼンについて学ぶ。 「短大生活3ヶ月を振り返って」「夏休みに取り組みたい事」など、身近なことをテーマにプレゼンを行う。	
	7/5	3コマ目：情報分析、プレゼン準備① 各グループで、相浦地域のプレゼンで発表したものからさらに掘り下げる場所・イベントを1つに絞り、PRするための具体的なアイデア等の情報分析・プレゼン準備を行う。 候補案：呉服屋、染物屋、神社、お寺、愛宕山、飛び石、相浦おくんち、愛宕祭り	
	7/5	4コマ目：情報分析、プレゼン準備② 各グループで、相浦地域のプレゼンで発表したものからさらに掘り下げる場所・イベントを1つに絞り、PRするための具体的なアイデア等の情報分析・プレゼン準備を行う。 候補案：呉服屋、染物屋、神社、お寺、愛宕山、飛び石、相浦おくんち、愛宕祭り	
	7/12	3コマ目：外部講師による特別講義7 効果的なプレゼンについて、グループ指導を受ける。 作成したプレゼン資料で発表をし、課題を発見する。	
	7/12	3コマ目：外部講師による特別講義8 効果的なプレゼンについて、グループ指導を受ける。 作成したプレゼン資料で発表をし、課題を発見する。	
	7/19	3コマ目：「黒島フィールドワーク」① 課題を抱える異なる地域を訪問しフィールドワークをする。	
	7/19	3コマ目：「黒島フィールドワーク」② を課題を抱える異なる地域を訪問しフィールドワークをする。	
	7/26	3コマ目：情報分析・プレゼン準備① 「黒島フィールドワーク」で得たことをもとに、情報分析を行う。 実際に本番を想定してプレゼン準備を進め、プレゼンを行う。	
	7/26	4コマ目：情報分析・プレゼン準備② 「黒島フィールドワーク」で得たことをもとに、情報分析を行う。 実際に本番を想定してプレゼン準備を進め、プレゼンを行う。	
	8/2	3コマ目：情報分析・プレゼン準備③ 「黒島フィールドワーク」で得たことをもとに、情報分析を行う。 実際に本番を想定してプレゼン準備を進め、プレゼンを行う。	
	8/2	4コマ目：プレゼンテーション発表・評価 「黒島」についてプレゼンを行うとともに、自他グループの評価をする。 「学修成果記録ノート」に2nd Quarterの振り返りを記入する。	
	8/9	3コマ目：2nd Quarter振り返り 「学修成果記録ノート」に2nd Quarterの振り返りを記入する。	
授業形態	演習		
到達目標	<p>「導入タム」の総合的な目標は、課題発見力（本質理解・原因追求）を獲得できることとする。自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、話し合いを行い、この本質を理解し、原因を追求することができる。</p> <p>特に次の5項目に焦点を当てる。</p> <p>①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。</p> <p>②地域活動における課題を発見することができる。</p> <p>③地域を知る活動の内容を効果的にプレゼンテーションすることができる。</p> <p>④地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。</p> <p>⑤先輩より留学やインターンシップなどの情報を得て、自分の成長につなげることができる。</p>		
評価方法	グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。		
評価基準	フィールドワーク感想レポート（30%）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70%）		

教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。